

令和4年度たがみ台保育園における自己点検及び自己評価の結果

令和4年2月実施

実施期間・[令和5年2月1日～2月18日実施]

評価基準・[A:かなりできている B:ほぼできている C:あまりできていない D:ほとんどできていない]

評価方法・[A:4 B:3 C:2 D:1と換算して平均を出した。]

常勤・非常勤の全職員から提出された自己評価票を園長がまとめた。

	自己評価の観点	評価	意見・改善策
I 保育の計画性	1、園の保育理念・保育方針を理解している。	B	・今年度は「主体的で対話的で深い学び」を柱に保育を行ってきた。いろんな場面で、子どもの主体性が見られてきて嬉しく思いました。
	2、保育所保育指針を理解していると思う。	B	
	3、園の全体的計画を理解していると思う。	B	
	4、指導計画の作成 ○指導計画は、保育指針・全体的計画・園児の実態等をもとに作成している。	B	
	5、環境の構成 ○安全で清涼感のある環境構成をしているか。	B	・今後は、季節感が感じられる環境が課題である。 子どもたちとともに季節についても考え環境構成も生かしていけるとよいです。
	○園児が自ら活動を展開していけるような場や構成をしているか。	B	
	○園児の動線や目線に配慮した環境構成をしている。	B	
	○季節の変化に応じた環境構成をしている。	C	
	6、保育と計画の評価・反省 ○自分の保育と計画の評価と・反省は行うようにしている。	B	・各クラス主任、副主任との保育検討会がなされ、良い方向に向かっている。
	○評価反省を次の保育と計画に活かせるように行っている。	B	
○自分の保育を公開して、それをもとに検討しているか。	C		
II 保育の在り方・園児への対応	1、健康と安全 ○登園時は視診や検温により園児の体調が悪くないか確かめている。	A	・保健衛生リーダーを中心に安全面、衛生面には十分すぎる程 配慮をした。 ・事故やケガ発生時にも、すぐに分析をして再発防止に全職員で取りくんだ。
	○体調が悪そうなときは静かに寝かせたり検温をしたり適切な処置を行いすぐに家庭に連絡している。	A	
	○園内に危険な個所や物がないか、危険な遊び方はないか観察している。	B	
	○事故や怪我が発生した時は、園長に報告したり保護者に連絡取ったり医者に診てもらするなど適切な処置を行っている。	A	・行動分析の先生との勉強会を通し子どもの内にある心の動きに注目して保育した1年である。 ・マスコミ等で不適切な保育と耳にするたびに、一人一人の保育士が、自分の保育の姿を客観的に分析出来るように、主任、副主任の活躍が多くあった。
	2、乳幼児の理解 ○一人ひとりの園児をよく観察するように心がけている。	A	
	○園児同士のかかわりの中で、その姿の内にある心の動きについても推察するようにしている。	B	
	○園児の理解のために保護者と話し合うことがある。	B	
	3、指導とのかかわり ○園児の心を傷つけたり、人権を無視したりする言葉や態度、関わり方をしないようにしている。	B	
	○園児の気持ちに共感しながら一緒によく遊んでいる。	B	
	○園児の話をよく聞くようにしている。	B	
○園児を褒めたり励ましたり、目当てを持たせるような言葉かけをしている。	B		
○園児の個性や性格、特徴に応じた関わり方をしている。	B		
○[先生のようにやってみたい]と園児が思う立ち振る舞いを心がけている。	B		

	自己評価の観点	評価	意見・改善策
	4、保育者同士の協力と連携 ○園児について保育者間で話し合い、クラスを超えて情報を共有している。 ○指導上必要な園児については、職員全体で話し合い、共通理解を持ち対応するようにしている。	B B	・ラインやイロドリ の活用で情報の共有や共通理解が できている。
Ⅲ 専門家としての 資質（能力・良識・ 適性等）	1、専門家としての能力・良識・義務 ○園児の性格や個性を把握するように努めている。	B	・保育士一人一人が 良識ある態度で専 門職としての自覚 が窺える。 ・クラスの子ども の成長を、職員間で 報告し、喜び合い保 育を楽しむ姿がたく さん見られる。 ・研修リーダーを中 心に、研修に取り組 み各保育士がそれ ぞれ得意分野を生 かしていた。
	○朝と帰りのあいさつは、明るく元気に親しみをこめている。	A	
	○何かをしてもらったら感謝の気持ちを言葉等で表している。	B	
	○職務上知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守っている。	A	
	2、組織の一員としての在り方 ○子どもの事やクラスの出来事で必要な事は、園長や主任に報告・連絡・相談をしている。	A	
	○職員や園の批判を軽はずみにしていない。	A	
	3、保育の楽しみ・喜び ○園児のささやかな成長が理解でき、それを喜ぶことができる。	A	
	4、周りを感じ取れる感性 ○保育や子育てに関する情報を絶えず捉えようとしている。	B	
5、研修と研究 ○研修会には課題を持ち進んで参加している。 ○園の遊具や教材、機材について基本的な使い方を知っている。 ○障がいのある園児に対応する保育のあり方を学習している。	B B B		
Ⅳ 保護者への 対応	1、情報の発信と受診 ○クラスや子どもの様子、保育ポイントをクラスだより等で知らせている。 ○個々の子どもの様子は、直接話したり連絡帳を使ったりして伝えている。	A A	・イロドリや動画配 信は、保護者の方に 好評でした。また 全子どもの保護者 面談を行い、お子様 の園での様子をビ デオや会話で伝え ることで安心した 表情が見られまし た。 ・守秘義務は、定着 している。 ・小さな相談や要 望、クレーム等も、 相手に寄り添い考 え、担任、副主任、 主任、園長と共に 対応していきまし た。
	2、協力と支援 ○保護者からの様々な訴えや意見要望については、安易に受けたり断ったり無視したりしないで園長や主任に報告や相談をしている。	A	
	3、守秘義務の遵守 ○保護者の住所・電話番号や個人情報の管理は、園の方針に従っている。	A	
	4、対応 ○電話は相手が見えない為に誤解が生じやすいので、手短かに簡潔に要領よく対話することを心がけている。	A	
	5、クレームへの対処の仕方 ○保護者からのクレームがあった場合は、謙虚に話を聞き、園長に連絡・報告・相談している。	A	
Ⅴ 地域との 関わり	○地域の人々と親しく挨拶や会話を交わしている。	B	・コロナで地域との 交流が減少したが、 町内会長さんや老 人会の方の声掛け や協力が得られて いることに感謝し ています。
	○卒園児の情報を得るよう努めている。又は努めようとしている。	C	
	○子育て支援のあり方について職員全体で話し合っている。	C	
	○地域の行事や祭りに積極的に参加したり、協力したりしている。又機会があれば協力しようと思う。	C	